

地域の通信

わ

区政推進課 地域力推進担当 411-7026

こどもの居場所
ComeCome ひろば

主催：菅田地区社会福祉協議会
菅田地区自治連合会
協力：菅田地域ケアプラザ



「ComeCome ひろば」は、平成 29 年 5 月から菅田地区社会福祉協議会で、こどもの居場所づくりの取組としてスタートした。

放課後、気軽に来て時間を過ごしてもらおう場として小学生なら誰でも利用ができる。

勉強や遊び、工作など子どもたちが自由に過ごすことができ、第 2・4 木曜日に菅田地域ケアプラザで開催されている。

素直に振る舞える子どもの居場所



子どもたちから「博士」と呼ばれる漆原さん

「ComeCome ひろば」は、放課後に居場所がなく、夜遅くにコンビニや地区センターの駐車場で時間を過ごす子どもたちが見受けられたことをきっかけに、菅田地域ケアプラザの協力のもと、菅田地区社協が子どもたちの居場所づくりの取組として開催している。

運営スタッフは、地区社協の会員である主任児童委員、民生委員や地域の方々が関わっている。

遊ぶでも宿題するでも良し。なかでも工作遊びは人気で、子どもから「博士」と呼ばれている地域ボランティアの漆原さんが先生となり、ピタゴラ装置（からくり装置）やゴム鉄砲づくりなどを一緒に作り楽しんでいる。ここは、子どもたちにとっては学校でも家庭でもなく、気軽に安心して過ごせる居場所になっているようだ。

「様々な家庭環境の子どもたちが来るからこそ、ここでの姿から子どもの本来の姿が見られます」と地区社協副会長の倉石さん。



「子どもから元気をもらっている」と倉石さん

一年に一度のお楽しみのクリスマス会



主任児童委員の野中さん



ロータリークラブがサンタとトナカイで登場

通常は 20 名前後の子どもが利用している。菅田地域ケアプラザに近い池上小学校の子どもたちを中心に、菅田小、東本郷小の子どもたちが集っている。毎回利用していると言う小学 4 年生の児童は「ここでは落ち着いて遊べます。喧嘩もほとんどないから楽しいです」と、キラキラした目で話す。

昨年、池上小学校の 4 年生は総合学習の一環として「福祉」をテーマに学び、高齢者への理解を深め、地域ケアプラザの役割や業務を知る機会があった。それをきっかけに、子どもと地域のつながりができ、「ComeCome ひろば」への参加も増えてきたようだ。

活動資金は区社協のふれあい助成金を活用している。年に一度のクリスマス会は、神奈川ロータリークラブの寄付金で行っている。イベント当日は、軽食やサンタからのプレゼントなどが用意され、子どもたちは大興奮。主任児童委員の野中さんらが進行しながら、通常より多い 40 名ほどの子どもたちは、熱気で顔を赤らめながら身体を使ってゲームやダンスを楽しんだ。

子どもの自主性を引き出していきたい！



【ComeCome ひろば】

開催日時：第 2・4 木曜日

15 時～19 時

利用料：無料

対象：小学生

会場：菅田地域ケアプラザ

運営者の今後の活動の抱負は、子ども自身が「ComeCome ひろば」の場づくりに少しずつ関わっていけるようにすること。「子どもがやりたいこと」を子どもが自ら考え実行する。その手伝いを大人がする。さらには、地域のイベントに「ComeCome ひろば」として子どもたちがブース出店し、地域の方とのつながりを深めていく、そんな構想を思い描いている。

「ComeCome ひろば」が地域の中にあることで、子どもが主体的に地域と関わることを促し、子どもと地域の方の関係が身近になる機会にもなっているようだ。